各　　位

2026年５月11日

会 社 名　稲畑産業株式会社
代表者名　代表取締役 社長執行役員　稲畑 勝太郎
（コード番号　 8098　東証プライム市場）
問合せ先　執行役員 財務経営管理室長　農田 康一
（TEL. 050－3684－4007）

株主還元の基本方針の一部変更（DOE指標導入等）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株主還元の基本方針について、下記のとおり一部変更を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

１.変更の理由

当社は、2030年頃のありたい姿である長期ビジョン『IK Vision 2030』をめざす第３ステージとして、2027年３月期を最終年度とする３カ年の中期経営計画『New Challenge 2026』（以下、『NC2026』）を推進しています。

『NC2026』では、財務戦略として、資本効率のさらなる向上と累進配当を始めとする株主還元の重視、および「資本コストや株価を意識した経営」の実践（PBR１倍を常態的に超える株価水準の早期達成）を掲げ、各種の施策を進めております。

株主還元の基本方針としては、『NC2026』の期間中、一株当たりの配当額については前年度実績を下限とし、減配は行わず、継続的に増加させていくことを基本とすること（累進配当）、および、総還元性向の目安としては概ね50％程度とすることを掲げ、継続して増配および自己株式の取得・消却を実施してまいりました。

この度、累進配当の継続、総還元性向に加えて、株主資本の水準を踏まえて利益成長の成果を適切に分配する姿勢を明確にするため、新たにDOE（株主資本配当率）を指標として導入することといたしました。

２．変更の内容

（１）変更前

・ 一株当たりの配当額については前年度実績を下限とし、減配は行わず、継続的に増加させていくことを基本とする。（累進配当）
・ 総還元性向の目安としては概ね50％程度とする。

（２）変更後（下線は変更部分）

・ 配当総額については、DOE（株主資本配当率）４～4.5％を目安とする。

・ 一株当たりの配当額については前年度実績を下限とし、減配は行わず、継続的に増加させていくことを基本とする。（累進配当）

・ 各年度の総還元性向は50％以上を原則とする。

（＊）DOE（株主資本配当率）＝配当総額÷株主資本×100（％）

（＊）総還元性向＝（配当総額＋自己株式取得総額）÷連結純利益×100（％）

３．変更の時期

2027年３月期より適用いたします。

４．ご参考

2027年３月期の配当予想は、対前期比15円増の１株当たり年間143円（DOE 4.2％）となります。

	2026年３月期	2027年３月期	対前期比
１株当たり配当金	128円	143円	15円増

以上